

## 第66回全国植樹祭シンボルマーク及びロゴマークの利用に関する規程

### (目的)

第1条 この規程は、別記「第66回全国植樹祭シンボルマーク及びロゴマーク」(以下「シンボルマーク等」という。)の利用に関し、必要な事項を定めるものとする。

### (シンボルマーク等に関する権利)

第2条 シンボルマーク等に関する一切の権利は、第66回全国植樹祭石川県実行委員会(以下「実行委員会」という。)に属する。

### (利用の申請)

第3条 シンボルマーク等を利用しようとする者は、新聞、テレビ、雑誌等報道関係機関が報道目的に利用する場合、県が主体となって実施するイベント等で利用する場合を除き、あらかじめ第66回全国植樹祭石川県実行委員会会長(以下「会長」という。)の許諾を受けなければならない。

2 前項の許諾を受けようとする者は、利用申請書(別記様式第1号)に次の書類を添えて、会長に提出しなければならない。

- (1) 会社概要等申請者の事業内容がわかる資料
- (2) シンボルマーク等の利用状況がわかる完成見本等
- (3) その他知事が必要と認める書類

### (利用の許諾)

第4条 会長は、前条の利用申請があった場合は、その内容を審査し、第66回全国植樹祭のPRに寄与すると認めるときは、利用の許諾(以下「利用許諾」という。)をすることができる。この場合において、会長は必要があると認める場合には、シンボルマーク等の利用方法その他について、条件を付することができる。

2 会長は、利用許諾を行ったときは、利用許諾書(別記様式第3号)を、また、利用を許諾しない場合は、利用不許諾通知書(別記様式第5号)を申請者へ送付する。

### (利用許諾の制限)

第5条 シンボルマーク等の利用が次の各号のいずれかに該当する場合は、会長は許諾しないものとする。

- (1) シンボルマーク等を立体として表現したもの
- (2) 法令及び公序良俗に反するものと認められる場合
- (3) 第66回全国植樹祭の信用又は品位を害するものと認められる場合
- (4) 第三者の利益を害するものと認められる場合
- (5) 特定の個人、政党、宗教団体を支援し、又は支援するおそれがあると認められる場合
- (6) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(昭和23年法律第122号)第2条に定める営業を行う者が利用する場合及びこれらの者に商品等を販売する場合
- (7) シンボルマーク等の利用によって誤認または混同を生じさせるおそれがあると認められる場合

- (8) シンボルマーク等のイメージを損なうおそれがあると認められる場合
- (9) シンボルマーク等の著しい変形その他シンボルマーク等の利用が適当でないと認められる場合
- (10) その他、シンボルマーク等の利用が適当でないと認められる場合

(利用許諾の期間)

第6条 シンボルマーク等の利用許諾の期間は、第4条第1項または第2項の規定により利用許諾を受けた日から平成27年4月末までとする。ただし、利用期間が限定されているときは、当該資料許諾の期間を短縮することができる。

2 前項の規定にかかわらず、第4条第1項または第2項の規定により利用許諾を受けた者(以下「利用者」という。)は、当該利用許諾を受けた事項を変更しない限り、第1項の期間満了後においても、在庫整理の期間として引き続きシンボルマーク等を利用することができるものとする。

(利用料)

第7条 シンボルマーク等の利用は、無料とする。

(地位の承継)

第8条 相続人、合併により設立される法人その他利用者の一般承継人は、当該利用者が有していた利用許諾に基づく地位を承継することができる。

(利用上の遵守事項)

第9条 第4条の規定による利用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 許諾された利用内容のみに利用をすること。
- (2) 当該利用に係る物件の完成品を提出すること。ただし、提出が困難なものについては、写真等を提出すること。
- (3) 第4条の許諾を受けた権利を譲渡又は転貸しないこと。
- (4) シンボルマーク等を用いた宣伝、広告又は商品等の利用に際して、許諾番号(「©第66回全国植樹祭#●●●●」)をその広告、商品、包装等に必ず明示すること。

(許諾内容の変更等)

第10条 利用者が利用許諾の内容について変更をしようとする場合は、あらかじめ変更申請書(別記様式第2号)を会長に提出し、会長の許諾を受けなければならない。

2 会長は、前項に規定する変更申請書を受理した場合には、その内容を審査のうえ、適当と認めるときは、これを許諾し、変更許諾書(別記様式第4号)を交付する。

(許諾の取消し等)

第11条 会長は、次の各号のいずれかに該当する場合は利用許諾(前条の追加又は変更の許諾があったときは、その追加又は変更後のもの。以下同じ。)を取り消し、利用者に対し、利用物件等の回収等の措置を請求することができる。利用者は、利用許諾が取り消された場合、許諾取消の日から利用することはできないものとする。

- (1) 利用者がこの規程に違反した場合
- (2) 利用者が第4条の利用許諾に付した条件に違反した場合

- (3) 申請書の内容に虚偽のあることが判明した場合
- (4) 第5条各号のいずれかに該当するに至った場合
- (5) その他シンボルマーク等の利用継続が不相当であると認められた場合

2 会長は、前項の規定による利用許諾の取消しにより利用者に生じた損害について、一切の責任を負わないものとする。

3 会長は、利用者にシンボルマーク等の利用状況等について報告させ、又は調査することができるものとする。

#### (利用の非独占性等)

第12条 この規程による利用許諾は、利用者が自己の商標や意匠とするなど、独占してシンボルマーク等を利用する権利を付与し、かつ、商品、利用者等について実行委員会の推奨を行うものではない。

#### (経費等の負担)

第13条 実行委員会は、この規程による利用許諾の申請に要した費用及び利用の実施に係る経費又は役務を負担しない。

#### (損失補償等の責任)

第14条 実行委員会は、シンボルマーク等の利用を許諾したことに起因する損失補償等について、一切の責任を負わない。

2 利用者は、シンボルマーク等を利用した商品等の瑕疵により第三者に損害を与えた場合は、これに対し全責任を負い、実行委員会に迷惑を及ぼさないように処理するものとする。

3 利用者は、シンボルマーク等の利用に際して故意又は過失により実行委員会に損害を与えた場合は、これによって生じた損害を実行委員会に賠償しなければならない。

#### (情報の公開)

第15条 会長は、シンボルマーク等の利用促進を図る観点から、利用許諾の状況等について情報を公開することができる。

#### (事務)

第16条 この規程に関する事務は、石川県農林水産部全国植樹祭推進室が行う。

#### (その他)

第17条 この規程に定めるもののほか、シンボルマーク等の利用に関し必要な事項は、会長が別に定める。

### 附 則

#### (施行期日)

1 この規程は、平成26年 月 日から適用する。

<別記> 第66回全国植樹祭シンボルマーク及びロゴマーク

1 シンボルマーク



タイプ1【4色+金 (DIC620)】



タイプ2【モノクロ】

2 ロゴマーク

第66回 全国植樹祭 いしかわ 2015

タイプ1【単色 (DIC389) 横】

第66回 全国植樹祭 いしかわ 2015

タイプ2【モノクロ横】

第66回

全国植樹祭

いしかわ  
2015

タイプ3【単色 (DIC389) 縦】

第66回

全国植樹祭

いしかわ  
2015

タイプ4【モノクロ縦】

3 ロゴマーク（大会テーマ部分）

**▲ 木を活かし 未来へ届ける ふるさとの森 ▲**

タイプ1【単色（DIC389）横】

**▲ 木を活かし 未来へ届ける ふるさとの森 ▲**

タイプ2【モノクロ横】

**▲  
木  
を  
活  
か  
し  
  
未  
来  
へ  
届  
け  
る  
  
ふ  
る  
さ  
と  
の  
森  
▲**

タイプ3【単色（DIC389）縦】

**▲  
木  
を  
活  
か  
し  
  
未  
来  
へ  
届  
け  
る  
  
ふ  
る  
さ  
と  
の  
森  
▲**

タイプ4【モノクロ縦】

4 組み合わせ例

